JA 英国日本人会
Japan Association in the UK

NewsLetter

Vol.305 2023 11

Japan Association in the UK｜209a Princess Park Manor, Royal Drive, London N11 3FS
Web: https://japanassociation.org.uk ｜ E-mail: secretary@japanassociation.org.uk

事務局長: ウィンター千津子
英国日本人会ニュースレター第305号 23 November 2023
Registered charity number: 1145493

日本人会の皆様へ

10月に日本大使館に公使・総領事として着任いたしました。代々の前任者は名誉会長として御一緒させていただいてきたとのこと、そのような機会をいただけることは大変ありがたく、未熟者ではありますが、よろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介を申し上げますと、前任の川瀬と同じ1995年に外務省に入って、翌年から98年までオックスフォード、次いでロンドン（キングズ・カレッジ）で研修をしました。ブレア首相が颯爽と就任した頃です。また、次いで、2008年から2010年までは、今般外相としての政界復帰で話題になったキャメロン卿が連立政権を発足させた頃ですが、この国の外交と内政を追いかけていました。英国滞在の合間には、南ア、パキスタン、エジプトでの勤務をはさみ、今回はニューヨークの日本政府国連代表部から移って参りました。

ニューヨークにいたときに、シンガポールの外交官と話していた際、「シンガポールの国鳥が何か、知ってるか？」と聞かれたことがあります。港町だし、東京と同じシーガルかな、と答えたところ、クレーンだ、と言うので、鶴にシンガポールは暑すぎないか、と真面目に聞き返したら、建機のね、というジョークでした。シンガポールには本当は何もない、どんどん新しい魅力を建設していかないと人は引きつけられないから、だそうです。

イギリスはその対極のような国ですが、そう見えて、今はしっかり日本大使館裏にもクレーンがおります。10年前後の間隔で来てみると、ふらふら街を歩いて、変わったもの、変わらないものを見つけるだけでも楽しい日々です。そんな中ですので、こちらにずっといらっしゃる皆様からそういうもの、そして、なにより、着実に存在感を増している様々な「日本」がどう根付いてきたのか、御一緒する中で色々教えていただけることをことさら楽しみにしております。よろしくお願いします。

孫崎　馨

理事会だより

●11月1日に行われた理事会の抜粋●

◉孫崎総領事にJAの名誉会長となっていただくことをお願いし、領事は承諾された

◉12月9日、AGM及び恒例忘年会を行う

年次総会＊付議事項：

1)2022・23年度会計年度決算の承認　2）理事会推薦の理事の承認

＊報告事項

1）各部活動　2）会報、文集郵送の値上げ

総会お申し込み　https://forms.gle/MDtAQcRHjPbSfZ2a8

忘年会お申し込み　https://forms.gle/q1Ct2ajt3TFTBbJc6

◉経理担当は理事としてではなく、執行委員としてお願いをする。定し理事会には参加・報告の義務あり

◉Midland Senior会の団体日本人会員の扱いとして年会費£5、一斉メールのご案内は各自に送付、ズーム参加は無料、実際に対面の会に参加の場合には非会員としての参加料をいただく。現在まで10名が入会した。この会員には投票権なし

◉会報・文集は諸経費の値上がりに伴い、2024年度10月からは「会報」は現行の£30から£35、文集は現行の£10から£12とする

◉従来のJAが使用していたPost Box（JAの正式住所にも使用していた）が本年度更新時、11月5日より20%値上げの年間£580になるため今後は代々の会長宅をJAのアドレスとする

◉JA新アドレスは 209a Princess Park Manor, Royal Drive, London N11 3FS

◉Japan Societyの事務所の机一台を用意いただき、共有できるラップトップをおき（使用するには事務局に登録する）、そこでJAの作業、仕事ができるようになった。また、今まで事務局長宅で保管していたJAの備品も置かせていただける。使用したいときには education@japansociety.org.uk へ連絡のこと

◉今年よりSOAS主催のビジネス日本語スピーチコンテストのスポンサーとなった。本来スポンサーとして1000ポンドの寄付が必要であるが、SOASのジョーンズ佳子先生のお取り計らいで、金額の寄付はなく、代わりに当日のお手伝いとしてJAの会員を数名派遣して下さいとのことになりました。JAからは3名のボランティアを派遣、入賞者への賞品として英国春秋、春、秋号、1年分のJAのメンバーシップ、Japan 祭りでも好評だった会員のお父様作成の筆立てを提供した

会員部

●今月の会員の動き●

新入会員：1 名　会員数：334 名　Midland 会員：10 名・SOAS Speech Contest 入賞者：8 名　名誉会員 8 名　全会員 360 名

◉現在、音楽家、画家、陶器家その他のスペシャリスト、舞踊、ダンス等、公演や展覧会、または個人で何か催し物をなさる会員の方は条件なし（ティケットの割引等の条件なし）で一斉メール、会報等に載せて会員にお知らせしています。もし、音楽会、展覧会また個人で行う催しもので会員にお知らせを流すことをご希望の方は会員部 membership@japanassociation.org.uk までお知らせください。またその様な方をご存知でしたら是非 JA の会員になられることをお勧めください。

◉既に殆どの会員の方々が、2023・24 年会員の更新をなさって下さっています。まだ更新なさっていらっしゃらない方は速やかに更新をお願い致します。

更新フォーム：https://forms.gle/Kh8V4AJApkM6KABPA

お問い合わせ：membership@japanassociation.org.uk

◉ 10 月より Midland Senior 会の会員の中で希望者はロンドンでの会合には殆ど参加できないため、Midland Senior Group として Zoom などに参加できるよう会員になっていただいた。Zoom 等は無料、ただし対面でご参加の場合は非会員としての参加料を頂く。また投票権はなし。

◉本年度より、SOAS で毎年行われているビジネス日本語スピーチコンテストの入賞者には賞品として 1 年分の JA メンバーシップを提供することになった。この会員も投票権はなし

◉会員特典サービス協賛店リスト（新しい協賛店もあります）

https://japanassociation.org.uk/ja- 会員特典サービス協賛店リスト /

◉組織　https://japanassociation.org.uk/ 理事会構成 /

◉会則　https://japanassociation.org.uk/ 英国日本人会 - 会則 /

◉ GDPR Policy　https://japanassociation.org.uk/ 事務局より /ja の gdpr-policy/

◉ご家族のメールアドレス追加をご希望の方は下記にご連絡ください。E メール　membership@japanassociation.org.uk

各種イベント参加者へのお願い：

JAのイベント全てに関わる怪我や事故については自己責任において処理をされ、主催者の責任ではないことをご了承ください。

紅葉会部

●10月紅葉会の報告●

「忘れな草プロジェクト」映写会

日に日に秋も深まる10月26日、ロンドンのFarm Street Churchにおいて紅葉会例会が開かれました。この日は気温も15℃と秋らしく、皆様の装いにも秋の気配が感じられました。お食事（13:00-13:45）の後は、いよいよ在英邦人のインタビュー記録「忘れな草プロジェクト」（前会長ウイリアムズ百子さんが立ち上げられた）の上映（14:00-15:00）です。百子さんのアシスタント、安田和代さんが上映してくださったその内容は、1950年～1985年に英国に移住された日本人を対象にしたインタビューの映像記録で、今回は特にJA会員11人のお話を選んで下さいました。このプロジェクト映像の興味深い特徴は、質問者や質問が省かれていて、答のみで構成されている点です。それでも当時の英国や日本の様子が活き活きと伝わってきます。安田和代さんの巧みな編集に引き込まれているうちに上映もあっという間に終わりを迎えてしまいました。放っておけば風化してしまう、記憶のかけらの数々も　このように映像化されることによっていつまでも命を保つことが出来、私たちの心に語りかけてくれるのです。休憩•お茶の時間（15:00-15:10)を挟んで、お馴染みの声楽家、福島望美さんのリードによる秋の歌２曲「もみじ」「あかとんぼ」を熱唱（15:10-15:20）。最後には体をほぐす軽体操（15:20-15:40）。普段ないがしろにしている筋肉群を刺激して、15:45に閉会となり、ポカポカ暖かく帰路につきました。また並行して行われた Bring & Buy（13:00-15:00）では素敵な品々の出品がありました。

●今後の自彊術●

毎月第一第三月曜日　10時よりZoomにて

講　師：伊藤恵子さん

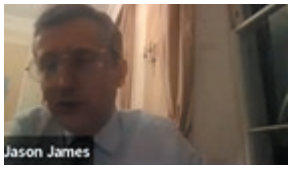
お問い合わせ：koyokai@japanassociation.org.uk

● 10 月二水会からの報告●

10 月 11 日午後 8 時から、大和日英基金事務局長のジェイスン・ジェームズ氏に「日本における英国ビジネスの成功：ウィルキンソン 炭酸ミネラルウォーター」という題目でお話しいただきました。

ジェームズ氏は、現在のポジションですでに 12 年目と多くの在英日本人の方には知られた方ですが、日本との関りは、13 歳の時に聖歌隊のツアーで来日して魅了されたことが始まりとのこと。そして、ケンブリッジ大学で日本学を学ばれ、しばらく金融業界で勤めた後に、2007 年からはブリティッシュ・カウンシル駐日代表や欧州連合文化機関日本代表等と、より良い日英・日欧関係を築く仕事をされ、その貢献が認められて、今年 OBE を授与されています。

ジェームズ氏の日本語力は素晴らしく、講演はすべて日本語であるのはもちろんのこと、Q & A でも質問の細かなニュアンスも理解してお答えいただきました。



今回の題目を選ばれた理由は、大和日英基金に、10 年ほど前にウィルキンソン炭酸ミネラルウォーター社創業者の末裔の方から家族の歴史を調べるための英語の資料が欲しいとの問い合わせが入り、日本語の資料を翻訳してお渡しした際に興味を持たれ、実際に創業地の兵庫県宝塚市を昨年訪問したことからとのことです。

また、現職で明治時代に日本で活動していた商社のイベントを行った際に、当時の人々の手紙等を見ていると、日本の文化に興味を持った人は日本でのビジネスを成功しているケースが多いことに気が付き、それは長崎での貿易で成功を収めたグラバー氏が代表的な例で、ウィルキンソン氏へはそのような点からも興味を持たれたとのこと。実際に、ウィルキンソン氏の子孫は 1980 年代まで日本で生活していたことからも、日本をこよなく愛していた証ではないかとのことです。

そして、ウィルキンソン炭酸ミネラルウォーター社が宝塚で設立された経緯やその後どのようにビジネスを拡大していたのかについてお話いただきました。当初発展した背景は 1800 年代後半にコレラが日本でも蔓延し、ミネラルウォーターを飲む必要性が出ていたこととし、その後日本で作られた商品を日本国外へ輸出したことがさらなる成功を収めた要因とのことです。また、ウィルキンソン氏はマーケティングにも長けており、日本の緑豊かなイメージを前面に出して生水が安全ではない南アジアや、宝塚の水に鉄分が多く含まれていることから医療面からも有効とし、健康に敏感となっていた欧米等でも販売量を増やしていったとのこと。仁王を同社のミネラルウォーターのラベルに使ったのも、日本の強いイメージであり、仁王のように健康になるということを伝える目的であったとのことです。

戦時中にウィルキンソン炭酸ミネラルウォーター社は、日本国籍の会社ではないために、日本当局に没収されて日本興業銀行が管理した後に株式を大日本ビールへ売却されたようですが、創業者子孫で本来社長であったハーバート・プライス氏が戦後に会社を取り戻し、日本初のオレンジジュースをバヤリースブランドで販売するなど、商品の幅を広げてさらにビジネスを拡大したとのこと。

その後 1983 年にハーバート・プライス氏の希望で、アサヒビールの関連会社のアサヒ飲料がウィルキンソン炭酸ミネラルウォーター社を買収し、ウィルキンソン家の同社との関りが終わったとのこと。しかし、その売却益や持ち家の売却益は当時の国税庁の全国長者番付の所得税支払いのデータで 2 位に入る多額なものであり、いかにウィルキンソン炭酸ミネラルウォーター社が成功していたかを物語っていたようです。

アサヒ飲料は最近でもウィルキンソン炭酸ミネラルウォーターの歴史を紹介し、マーケティングでも使われているとのことで、そのレガシーは今もなお残っているようです。

Q & A では、ハーバート・プライス氏はお母様思いであったために、ご自宅から道向こうにあったバラ園に行くための地下道と日本で初めて個人宅にエレベーターを設置されたことや、フィリピンで使われている言葉では炭酸という言葉は王冠という意味を持っており、これはウィルキンソン炭酸ミネラルウォーターで王冠が使われていたからで、いかにこの商品がアジアの国々でいきわたっていたか等のエピソードもお話しいただきました。

このように、博学なジェームズ氏に様々な興味深いエピソードを取り込みながら日本人でもあまり知られていない同社の歴史についてお話しいただき、参加者一同学ぶことの多い会となりました。個人的には 1800 年代の緑あふれる宝塚や日本を愛したウィルキンソン家の人々に思いをはせる講演となりました。

文責　Whitehouse 佐藤敦子

NALC部

11月に入り、歩道を埋め尽くす色とりどりの落ち葉が秋の深まりを感じさせる日々ですが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。ナルク部の今月の活動報告をお届けします。

●ズンバゴールドチェアー教室

今月は第一火曜日の7日の11時から教室を行い、11名の方々に参加いただきました。12月も今年最後の教室を5日11時から行います。

●ヨガ教室

11月は第二火曜日の14日10時から開催して9名の方々に参加いただきました。12月と1月は先生のご都合でお休みとさせていただき、2月から再開させていただきます。

●マインドフルネスなヨガ教室

10月は通常通り第4火曜日の24日11時から開催されて16名の方に参加いただきました。11月も28日火曜日11時からと予定し、12月はお休みとなるヨガ教室の代わりに第2火曜日の12日11時からと予定しています。

●ナルク部共催二水会

11月8日水曜日に「高齢期に気をつけるべき健康について」として、NHSのIslington高齢者精神科クリニックでお勤めの田頭弘子医師にお話しいただき、34名の方々に参加いただきました。この詳細は別途報告書を作成して英国日本人会のサイトに掲載し、また来月の会報で概要を報告させていただきます。

簡単な個人的な感想は、骨粗鬆症、高コレストロールに対応するスタテン（Statins）治療についてのお話しがとても役立つものであったのはもちろんですが、トライアスリートでもある田頭先生に、日常生活はできていても、運動の際に心肺機能がコロナ罹患前のように十分に戻らないと感じる場合は、Long Covidの恐れがあるためにCovid ClinicへGPを介して紹介をしてもらう必要があるというアドバイスもいただき収穫の多い講演となりました。

●ナルク部例会

11月14日にオンラインで行い、年末、年初に向けて活動内容の確認と次年度以降の計画について話し合われました。

●時間預託システムについて

JAの会員の方々はナルク部の時間預託のシステムがご利用になれます。このシステムは、JA会員の方々が気兼ねなくサポートを依頼できるように、JA会員の皆様に付与されているナルク部時間預託のための10ポイントを利用して、病院の付添、買い物サポート、庭仕事のお手伝い等を受けるというものです。そこで、お怪我で買い物が難しい、病院への通院が一人では不安な際などは、お気軽にナルク部（nalc@japanassociation.org.uk）までご連絡ください。ご希望いただきましたら、サポートができる会員の方を一斉メールで募り、コーディネートをさせていただきます。その際、サポートいただく会員の方の交通費等は実費でお支払いいただきますが、実際にサポートいただいた時間は会員の方保有のポイントから一時間あたり1ポイントをお手伝いいただいた方へお支払いいただくためその他費用は基本的に発生しません。

●JA会員のネットワークを利用したお尋ねごとなど

JA会員のネットワークを利用して、地元の庭師の紹介など、必要な情報を収集するお手伝いなども、一斉メールを通じてナルク部では行っています。お気軽にnalc@japanassociation.org.ukへご連絡ください。

注：ご紹介いただいた業者または個人の方と、ご依頼者の間の連絡や契約については、両者の自己責任において処理いただき、JA及び紹介者の責任ではないことはご了承ください。

ナルク部では、コアとなってお手伝いをいただける方を常に募集しています。会員の方への連絡係やオンライン教室や講演会開催のお手伝いなど、ご興味がありましたら、お気軽にご連絡ください。

文集部

●文集部よりお知らせ●

樹々の黄葉も深まり、走り回るリスもエサの貯蔵に忙し気で、ああこれで今年も去って行くのかと、何となく感傷的にさせる今日この頃。皆様はお元気でお過ごしでしょうか。

さて、文集部では既に来春、春号の原稿募集を開始いたしました。要項は下記の通りですので、奮ってご投稿くださいますように。

『英国春秋』2024年春号（No.44）
タイトル：フリーまたは、特集
　　「一度会ってみたい人」、「もう一度会ってみたい人」
字　数：A4　2～3枚（出来ればワード添付）
締　切：2024年3月10日（但し、原稿随時受付）
送付先：bunshu@japanassociation.org.uk

JA理事で福祉部長であるHall美奈子さんが今年の8月、2年間のハードワークを終え、神学校を無事修了、英国国教会よりLay Ministerの資格を付与されました。その式典が10月8日サザーク大聖堂にて執り行われ、他の14名の方と共にBishop Christopherより祝福をうけた後、厳かな雰囲気の中で新たにライセンスを取得されたLay Ministersのお披露目がありました。当日はJAからも多くの方がお祝いに駆けつけました。普段なかなか耳慣れない「Lay Minister」ですが、卑近な例では、美奈子さんは今後葬儀を執り行うことができるようになります。JAでもまた活躍の場が広がるのではないでしょうか。改めておめでとうございます。益々のご活躍を祈念いたします。

英国日本人会より(会報部グラハム明美記)

福祉部

今年最後の懇親会を11日の土曜日に開催しました。
これまではお仕事などで週日の参加が叶わなかった方々がご一緒され、合計39名で大変賑やかな時間となりました。自己紹介を通して同郷の方と遭遇したり、興味のある事を一緒に楽しむメンバーを探したり、連絡先の交換をされている方たちもいらっしゃいました。次回は来年2月に西支部が担当する懇親会から始めます。どうぞ、ご一緒ください。

●編み物クラブ

「毎月第三火曜日に、ベーカーストリートにあるダイワハウスで12時から4時間、編み物好きが集まっています。お弁当を食べたり、おやつを分け合ったり、おしゃべりをしたり、はい、そして勿論その間には忙しく編み物に精を出しています。編み物は全くの初心者の方も、必要なもの一式と経験豊かなメンバーがあなたのご参加をお待ちしています。参加ご希望の方は詳細をお知らせしますので、下記連絡先までお問い合わせください。それでは、ダイワハウスでお目にかかれることを楽しみにしています。(コンソレ敦子)
問い合わせ先:シェイラー文野
mcfshailer@gmail.com　Tel: 07411 852 815

●認知症のセミナー

昨年大変好評をいただいた、リッチャー美津子さんによる「認知症セミナー」(Zoomにて)の第2回目を下記の日程で開催いたします。今回は「認知症の症状が深い人との関わり方」を日本やスイスのホスピスでの日々職場での経験を元にお話しくださいます。認知症に関する質問は参加申し込み時に受け付けています。是非、ご活用ください。

日　時:11月30日(木)20時から21時半まで(Zoom)
参加申し込み:下記のリンク先よりお申し込みください。
https://forms.gle/9f796QaiSxomeiL78

よろしくお願いします

<新メンバーのご紹介>

由起子マークス(Warwickshire在住)
歳を重ねるにつれ、「外国で老いる事」について考えるようになりました。そんな時、JAの福祉部の存在を知り、入部させて頂きました。微力ではありますが、日本人コミュニティのお役に立てればと思っています。現在、いたずら盛りのジャックラッセルの子育てに奮闘中です。好きな事は「体を動かす事」です!宜しくお願い致します。

<ご報告>
11月13日の強い天風が収まった静かな午後、故米田稔さんのご葬儀がHendon crematoriumで執り行われました。福祉部にご紹介を頂いて、この9月にケアホームを訪ねてお話をした時のこと、別れ際に米田さんから「どうぞ、よろしくお願いいたします。」の言葉を受けて、再訪問の約束をしました。残念ながら、その約束を果たす事は叶いませんでした。折しも、ご葬儀で流れた日本の童謡「紅葉」は、米田さんが眠られるHendon日本人墓地に彩を添えています。米田さん、お会いできて良かったです。安らかにお休み下さい。
ホール美奈子

福祉部連絡先:
一般的なお問い合わせ　welfare@japanassociation.org.uk
個人的なお問い合わせ　hall@japanassociation.org.uk
Tel: 07754 735 361

同好会ガイドライン：
JAの全ての同好会の活動は、会員同士の同好の集まりであり、JAの主催する活動ではありません。それぞれの同好会の主催者が個人として自主的に運営し、参加者も自己責任で参加します。JA会員・非会員に拘わらず参加可能です。JAは何ら同好会の活動に対し、責任を負いません。

スケッチ　＜紅葉＞

発音は同じでもロンドンの場合は<黄葉>という感じがする。公園は針葉樹は少なくほとんどが落葉樹で、赤くなる木は少なくせいぜいオレンジ止まり。ほとんどが黄色い落ち葉となる、11月も10日を過ぎると公園の緑が日一日と黄色に変化する様を見るのは、散歩に出るのが一段と楽しみに輪をかける。10月の絵は前から"お祭り"と決まっていたのでウォークでハムステッドヒースを歩いたのにもかかわらず描けなかつたので、公園の木々を描きたかった人達にとってはドラマティックに変化した景色は描き甲斐があった事と思う。人物から風景に180度転換の課題だが風景は一番ポピュラーな課題なので皆さんにとっても楽しんで描けた事と思う。

山本郁子

高波三枝子.

山下美保子

スタンディング百合子

ビドル恵

ビドル恵

グリーブス邦子

古沢いくこ

ハーテイみえ

竹内みどり

俳句を学ぶ会

11月の句　季語は「行く秋」

栗行く秋に一幅の絵の如屏の蔦	キング悦子
行く秋や一人夕餉の静けさよ	廣瀬信子
行く秋や墓前に花を手向(たむ)けなん	バンダースケイフ日出美
公園の空のブランコ秋過ぐる	岡部　道
行く秋を惜しむが如き虫の声	松尾美和子（オハロラン）
木々の葉が日毎に変わり秋深し	ウィンター千津子

行く秋

穏やかや瀬戸内の海秋ゆけど	中田浩一郎
行く秋日一夜明け毎寒さ増し	藤田幸子
首都を行く秋ゆっくりと黄金径(みち)	アレン郁子
あちこちの色深めつつ行く秋や	小野宣美
行く秋や雨続く夜の寝ずの床	大河内啓子
黄菊やカボチャ　届きけり	福重久子

9月の歩きの会で行った
Denbies Vineyardの写真です

歩く会は来春まで お休みします

スマホ同好会

10月のLINEとYahooの合併に伴いLINE のPrivacy Policy が変更になりますが、海外の携帯電話番号を登録しているユーザーは何もしなくてもLINEを継続利用出来る事、無料の5GまでのiCloudと有料のiCloud+について、Google Lenseでテキストにカメラをかざすだけで他の言語に自動翻訳出来る事等について情報共有しました。

Online ZOOM ミーティング予定

第1、第2、第3、第5火曜日の「午後１時から４時」です。
P8のカレンダーをご覧ください。途中参加・退出も自由です。

初めての方は松崎美枝子までご連絡下さい。
miekobarraclough@hotmail.com　Tel：07903 445 144

今月の豆知識

iPhone iOS17の新機能
-写真を水平に撮る方法-

設定でカメラをタップして水平（Level）をオンにします。
写真を撮る時に画面の中央に白い線が入いるのでそれが黄色に変わるまでカメラを左右上下に動かして画面を水平にします。

フィンチリーテニス同好会

毎週水曜・木曜の11時～13時に練習をしています。
Victoria Park, N3 2EBのコート。路駐可。見学歓迎。和気あいあい楽しいグループです。参加費など詳細はお問合せください。
幹事　オークリー千春：ja.tennis@outlook.com

※ JAクラブの報告とお知らせ ※

第５回JAクラブは11月2日（木）午後12時から4時まで開催されました。今回は雨降りで最悪のお天気、参加者も6人程度でした。今回は水菜やからし菜などの種を持ってきてくださった方もあり、種の撒き方などを教えていただきました。
今月は参加者も少なく、外も暗くなってきて3時頃、皆でもう帰ろうか、でも4時まで開場になっているからもう少し待ちましょうかと言っていたところ、会員のお一人がそれは美味しいフォカッチャを焼いて持ってきて下さり、人数が少なかったので皆さん沢山いただいて帰ってきました。待つ者には福ありの日でした。
次回のJAクラブは第１木曜日は大和の都合で部屋が取れず12月５日（火）12時よりとなりますのでお気をつけ下さい。次回は忘年会の打ち合わせ等もしたいと思っています。サポーターグループに登録なさっている方々のご参加をお待ちしています。またバザーも行います。（売り上げは個人に行き、JAには寄付なし）
＊キッチンにはマイクロウェーブ、冷蔵庫、ケトル、コップなども揃っています。また、JA専用の日本茶もあります。

第5回 JA クラブご案内
日　時：12月5日（火）　午後12時～4時
（12月は第１木曜日ではありませんのでご注意を）
場　所：大和ファンデーション
13/14 Cornwall Terrace London NW1 4QP
お問い合わせ：
secretary@japanassociation.org.uk　Tel: 07957 458 023

※ 麻雀を習いたい人！ ※

麻雀を習いたい！というご要望にお応えすべく、来年から定期的に麻雀を学ぶ機会（初心者向け）を現在企画中です。ご興味のある方、また、ご不要になった麻雀セットを寄付くださる方、どうぞ、下記の個人的なお問い合わせ先までご連絡をください。
お問い合わせ：hall@japanassociation.org.uk

12月 JA 活動 イベントカレンダー

詳細は各ページをご覧ください。

Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat	Sun
				1	2	3
4	5 ズンバ・ ゴールド・チェア JA クラブ	6	7	8	9 AGM・忘年会	10
11	12 マインドフルネス なヨガ教室	13	14	15	16	17
18	19	20 会報締切り	21	22	23	24
25 Christmas Day	26 Boxing Day	27	28	29	30	31 大晦日

テニス同好会：12月6日、7日、13日、14日、20日、21日、27日、28日　**スケッチ会：**12月13日　**スマホ同好会：**12月5日、12日、12月19日(火)は忘年会　**歩く会：**来春までお休み

＊会報は会員のためにあるため非会員への転送はご遠慮ください。一般の方用には会報発行２週間後位にJAのホームページに掲載されます。